

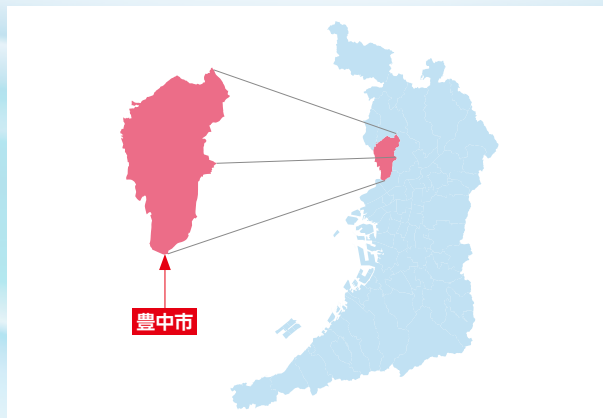
大阪国際空港周辺緑地の利活用

～飛行機が見える魅力的な都市公園～



原田緑地は大阪国際空港の緩衝緑地（騒音等の緩和を図ることを目的として造成される緑地）期事業の計画地で、現在は「緑と食品のリサイクルプラザ」や「緑化樹木見本園」、「記念樹の森」など、主に緑地保全及び緑化推進行政を図る施設が設置されています。

同地に隣接する千里川土手は、飛行機を真下から間近で鑑賞できる環境であることなどから、世界最大級の旅行プラットフォーム「トリップアドバイザー」において、最高のサービスを継続的に提供し、過去1年間にわたり高評価の口コミを継続的に獲得した施設に与えられる「エクセレンス認証」を受けました。こうしたことから、大阪国際空港に親しみを持つことや空港周辺地域の活性化等を目的に、原田緑地を飛行機が見える魅力的な都市公園として、千里川土手と一体的な整備を進めます。



対象エリア

- ・場 所：原田中2丁目地内（大阪国際空港の南東）
- ・敷地面積：約6ha

現在の整備状況

緑と食品のリサイクルプラザ

食品リサイクル法の理念や趣旨に基づき、学校給食の調理くずや給食の食べ残し等の生ごみに街路樹等の剪定枝を混ぜて堆肥「とよっぴー」（土壌改良材）を製造する施設。

体験農場

緑と食品のリサイクルプラザに併設する農園で、親子や児童等の野菜の植付・収穫等を行う農体験学習の場として活用。

緑化樹木見本園

自宅などに植える樹木の見本を展示している施設。

記念樹の森

市民の出生や結婚、銀婚、金婚の記念として、市の木であるキンモクセイ等を植樹した施設。



